

= 受賞 =

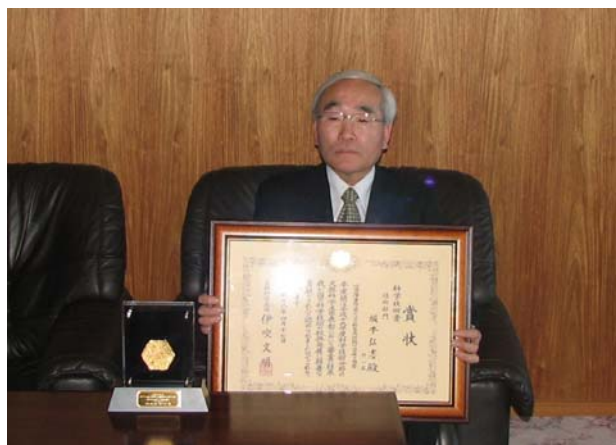
坂本名誉教授 科学技術賞（技術部門）を受賞

（企画広報課）

このたび、本学坂本弘志名誉教授が、平成 19 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰、科学技術賞（技術部門）を受賞されました。

科学技術分野の文部科学大臣表彰とは、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成績を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的としたもので、その中でも、科学技術賞の技術部門は、中小企業、地場産業等において、地域経済の発展に寄与する優れた技術を開発した者を対象に授与されるものです。

受賞対象研究は、マルエイ三英㈱取締役総括部長 村上正幸氏と共同開発したもので、概要は以下の通りです。



科学技術賞（技術部門）を受賞した坂本名誉教授

「吹雪障害防止のための新型高性能防雪柵の開発」

業績：

積雪寒冷地での冬期間の道路交通障害や事故の大部分は、吹雪障害によって誘発される。これを防止する上で、これまで吹払い式防雪柵及び吹止め式防雪柵が用いられてきていた。しかし従来の吹払い型では道路中央部付近からの吹雪流の巻き上がり、吹止め型では柵風上側の堆雪による性能の急激な低下等の多くの問題を有していた。

本開発は、従来型防雪柵が有する問題を解決する上で、高性能の防雪柵を考案し、実用化を図ったものである。開発された防雪柵は、吹雪の吹払い能力を従来型に比べて数段向上させた吹払い型、吹払いと吹止めの両機能を有する複合型、吹雪流を柵風下側に吹払う飛翔型、及び風向の変化に柔軟に対応できる斜風対応型である。いずれの防雪柵も風洞モデル実験、並びに野外実証試験によって、高い性能を有することが立証され、実用化された。

本開発により、冬期間の道路の安全走行を従来に比べて数段向上させ、吹雪障害による交通事故を大幅に低減させることができた。

本成果は、吹雪障害による交通事故を防ぎ、冬期の道路網を確保するという観点から、社会的に極めて貢献度の高いものである。また道路輸送に大部分が依存している現在、冬期間の道路交通環境の向上化を図ることによって、地方の産業の発展と新産業の創出に寄与している。